



広報

かつやま

Katsuyama City Newsletter

2月号

No.581

平成16年2月12日発行

春を待つ^{うね}畝

CONTENTS

環境特集

成人式

アクションプラン21

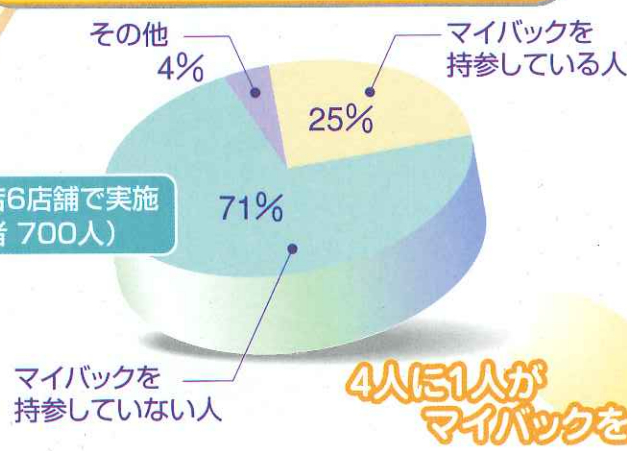
Hot・話題

(荒土町別所)

んか？ マイバック



マイバック持参率出口調査より

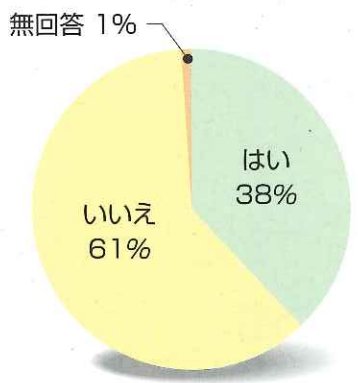


お買物のときにスーパーのレジなどでもらえる「レジ袋」。普段当たり前のように受け取っているこの「レジ袋」が、ごみの増加と環境破壊の一因となっていることをご存じですか。

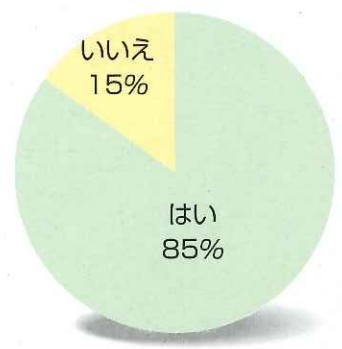
勝山市では、ポリエチレン製のレジ袋を「燃やせないごみ」に分類し、処理していますが、このレジ袋が「燃やせるごみ」に混入されていることなども問題になっています。

ごみの減量を推進し、自然環境を守るために、お買物のときには「自分の買物かばん」を持参してレジ袋は受け取らない「マイバック運動」にご協力ください。

● レジ袋をもらえないと困りますか ●



● マイバックの日を知っていますか ●



● マイバック運動意識調査より (回答者850人)

ご存知ですか？

毎月10日・20日は
「マイバックの日」

勝山市では昨年1月から毎月10日、20日を「マイバックの日」と定め、買い物の際には買い物かばんを持参してスーパーのレジ袋をもらわないよう市内量販店において街頭宣伝活動を行っています。

先日、市民のみなさんを対象にマイバック運動意識調査とマイバック持参率出口調査を行いましたのでその結果をお知らせします。

高いごみ減量化への意識

毎月10日、20日のマイバックの日の認知度は85%と大変高い結果でした。

また、買い物時にレジ袋が欲しい理由として、「マイバックを忘れる」「他のことに利用」という回答でした。

レジ袋がいらぬ理由には「マイバックを持っていない」「ごみになるから」などの意見がありました。

半数以上のかたが「レジ袋はいらぬ」と回答しており、ごみ減量化への意識の高さがうかがえます。

ごみの中からリサイクル展

3月6日(土)~14日(日)

くわしくは、本紙折り込みチラシをご覧ください。



ごみを出される時のお願い

1. 生ごみはできるだけ水切りをして出してください。
2. 燃やせないごみは、処理をする作業員の事故防止のため、できるだけ透明な袋に入れて出してください。
3. 燃やせないごみ、資源ごみについては、リサイクルがスムーズにできるよう分別の徹底をお願いします。

お問合せは、

廃棄物対策課 (☎内線311・312)
グリーンヒル上野 (☎88-3216)

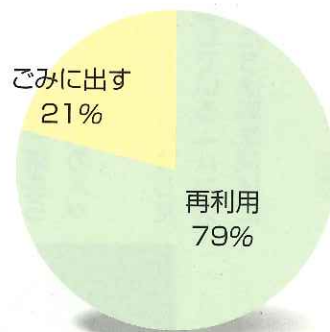
持って行きます お買い物に

レジ袋をもらわない運動は、
市内スーパー・コンビニエンスストアにも
ご協力をいただいています。

**勝山市の不燃廃
プラスチック処理量は
年間400t
約7,000万円もの
処理費用がかかります。**

「買い物の際にレジ袋をもらった場合、79%のかたが「ほかに再利用する」と回答しています。反対に、21%のかたが、「再利用せずにごみに出す」という回答でした。

●レジ袋をどのようにしていますか●

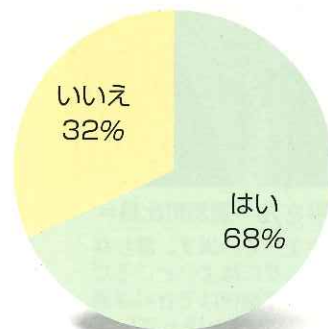


「レジ袋をもらわない運動は、市内スーパー・コンビニエンスストアにもご協力をいただいています。」という回答が約2割

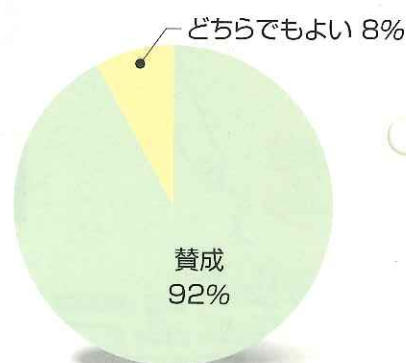
9割以上がマイバック運動に賛成。

約7割のかたがご家庭にマイバックを持っています。

●ご家庭にマイバックは、ありますか●



●マイバック運動に賛成ですか●



今回の調査では、回答者の90%以上がマイバック運動に「賛成」でした。マイバックの日の認知度が85%という回答結果と合わせて、ごみ減量化への意識がうかがえます。

また、回答者の68%が家にマイバックがあると回答していますが、実際の買い物で常備しているかたはまだ少ないようです。買い物の際に、みなさんがマイバックを持参すればごみは確実に減ります。

今後さらにごみを減らすためにもマイバック運動にご協力ください。

祝成人



晴れ晴れと



新成人に祝意を述べる山岸正裕
勝山市長



平成16年「新成人の声」作文朗読
最優秀賞「就職活動を通じて感じたこと」
岩岡琴美さん－荒土町細野－

平成16年勝山市成人式が、1月12日に市民会館で行われました。式典では、山岸市長の式辞に続き、藤澤七郎兵衛市議会議長らが、21世紀の時代をになう新成人に、期待を込めたお祝いのメッセージを述べました。

式典後のアトラクションでは、勝山市をビジュアルで紹介した映像放映や市内の繊維会社の関係者などで活動している「ハンスフル」のファッションショーが行われ、新成人たちは興味深げに見入っていました。

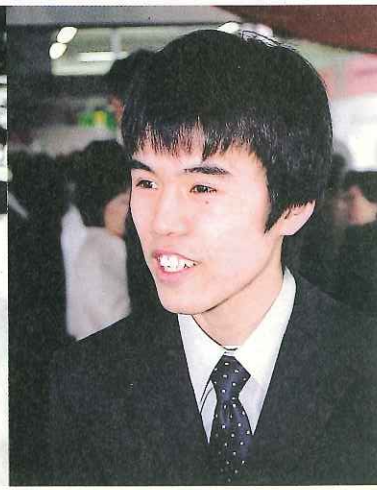
また、新成人で構成する「成人式実行委員会」が企画、運営した成人式第二部では、教育福祉会館を会場に、中学校時代の担任の先生を招いた立食パーティーが行われ、懐かしい「顔」の再会に笑みを浮かべながら会話を楽しみました。



伊藤晃平さん＝遅羽町比島＝
金沢で学生をしています。静かな勝山市は暮らすにはよいところだと思います。卒業後はできれば勝山市で暮らしたいと思っています。



黄倉沙弥香さん＝元町1丁目＝
今は学生ですが、客室乗務員になって世界の空を駆けめぐるのが夢です。勝山市は、人口は少なくとも元気のある今のままのまちでいてほしいです。



落合悟志さん＝長山町2丁目＝
春になったら高専から大学へ編入する予定です。電気に関してすごく興味があるので、将来は電気関係の仕事に就きたいと考えています。



アトラクション

「ハンズフル」の幻想的なファッションショー
繊維の魅力をアピールします。



勝山市の「今」を映像で紹介



成人式第二部

懐かしい恩師と、
ちよっぴりはにかみながらの再会。
でも、いつの間にか
昔の笑顔に戻って、会話もはずみます。



平成16年
勝山市新成人数 352名
(成人式出席者 313名)



木下郁恵さん=野向町聖丸=
将来はデザイナーになりたいと、
大阪の専門学校でデザインの勉強
をしています。勝山は好き、もっ
とおしゃれなまちになってほしい
です。



松川大輔さん=北郷町森川=
中学時代に職場体験で訪問した保
育園での経験が忘れられず、滋賀
県の保育園でアルバイトをしてい
ます。資格を取って保育士になる
のが夢です。



片岸幸子さん=平泉寺町平泉寺=
看護師をめざしてがんばっていま
す。スキーが大好きなので、スキ
ーができる勝山は大好きです。今
日は友だちと会えることが楽しみ
です。



教育に関心を!!

子どもたちは次代を担う地域の宝

教育改革『アクションプラン21』の中間報告

今月は、教育改革「アクションプラン21」をすすめる中、教育委員会が地域のみなさんや各種団体と協力して「今」取り組んでいる事例を紹介します。

教育委員会では、教育改革「アクションプラン21」を推進するための3つの主体である「家庭・地域・学校」の活動を側面から支援するためのさまざまな事業を実施しています。

事業の中には、アクションプラン21のためにスタートしたもの、長い伝統のあるもの、エコミュージアムなど勝山市が進める他の事業とタイアップしたものなどがありますが、これらのすべては勝山市の子どもたちを「活かし、正す」ための活動の一環です。みなさん一緒に取り組んでみませんか。

なお、3月号では、新年度に向けた新たな計画についてお知らせします。

Part II 教育委員会では今



①世界へ向けて羽ばたこう

②“演奏”…中学校のプラスバンド

部の応援を力に楽しく走る奥越マラソン大会のランナーたち

体育課

チャレンジスポーツ

生涯体育の分野では、バドミントン、バレーボール、サッカー、トランポリン、剣道など学校の枠を越えた地域スポーツ活動を支援しています。

今後、少子化により小中学校の児童、生徒数の減少が予想されますが、地域スポーツ活動が部活動などの学校体育を補なっていくきます。

また、長尾山総合公園の里山の自然を生かしたスノーシューやカヌーの教室にも大勢の子どもたちが参加しています。

私たちは、やる気のある子どもたちを「一貫指導」することにより世界に通用する選手の育成をめざしています。

図書館

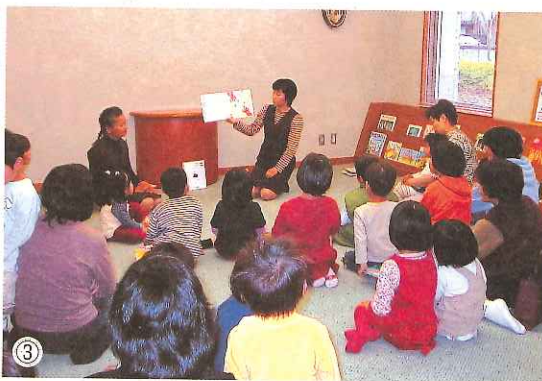
本の森へようこそ!!

「読書」は豊かな感受性をはぐくみ、子どもたちに夢と知識をさずけてくれます。

図書館では小中学校の遠足や総合的な学習の時間を利用した訪問などを積極的に受け入れています。

また、子どもたちが少しでも早い時期から読書に親しめるよう、0歳児に絵本を読み聞かせる「ブックスタート」を始めたり紙芝居などを毎週続けています。

私たちは、勝山の「本の森、知識の宝庫」として、子どもたちに親しまれる図書館をめざします。



- ①K&Pエロ 絵本と手品のつどい 驚き楽しむ子ども達!
- ②初めての絵本。不思議だなあ
- ③じっと聞き入る絵本の魅力

ふるさとの文化を再発見



文化課

- ①映像でよみがえる平泉寺
- ②縄文人はどんな道具を使ったのかな?

私たちは、子どもたちがふるさとの歴史と文化を再発見し、ふるさとルネッサンスにつなげていくサポートをしていきます。

地域の歴史や文化に関心を持ち、郷土の価値を再発見することが、子どもたちの「ふるさとを愛する」というつながっていきます。

文化課では、エコミュージアム構想と連携をとりながら、学校と地域によるふるさとの再発見を支援しています。

また、白山平泉寺の歴史を紹介するホームページの開設や「よみがえる中世都市・勝山平泉寺」などのビデオを制作しています。

<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/bunka/haishenji/>

「子どもが主役」の子どもも会活動へ

生涯学習の分野では、これまでの親が運営する子ども会活動から、子どもたちが自ら計画を立て、活動に取り組む「子どもが主役の活動」への転換を図っています。

モデル子ども会育成会を指定し、中学生を巻き込んだ先進的な活動が始まっています。

北郷町坂東島子ども会では、自分たちで会則を作成し、子ども主体の組織づくりをすすめています。また、勝山市子供会育成連絡協議会では育成者の役割についての研修や交流を進めています。

私たちは、子ども会活動を「大人がつくる子どものための行事」から「子どもが主役の子どもによる行事」に変えていきます。



①



②



③

①地区の夏まつり…子どもたちの店もいよいよ開店!!
②大人も子どももいっしょになって熱心に打ち合わせ
③子どもたち自らが、行事を楽しく盛り上げます

生涯学習課



わくわく合宿通学は4泊5日にわたる合宿生活を行うことで、協調性、自主性を養うことを目的としています。

子どもたちは、家庭を離れ、ボランティアとともに過ごす合宿を通じて、「家族」の大切さを再認識していきます。

私たちは、この事業を通じて「子どもたちの自立」と「地域による子育て」をめざしていきます。



地域で子育て「わくわく合宿通学」

学校教育課

学力の向上をめざして

学校教育の目的のひとつは、基礎学力の定着にあります。今、学校教育課では、各小中学校において基礎学力の向上をめざし、それぞれの学校の特性を生かした取り組みを進めています。

習熟度別にクラス分けをした少人数指導、英語検定、漢字検定や数学検定などに学校ぐるみで挑戦しています。

また、下校前の「学級の時間」を活用して、毎日15分のドリル学習を行い、学力向上をめざしています。

私たちは、指導方法の改善を通して、子どもたちの学力向上を支援していきます。



①こういうふうに折り曲げて

②フルーツバスケットで英語を楽しもう

授業で使えるデジタル教材を作成し、教師の指導向上を図るため、地元のIT関連企業とタイアップして文部科学省の「教育情報共有促進モデル事業」に取り組んでいます。

小学校向けの「きょうどにつたわるねがい」および中学校向けの「デジタル勝山の歴史」の二つのデジタル教材を作成し、地域の伝統行事や平泉寺の歴史をわかりやすくまとめています。子どもたちはデジタル教材を活用した授業で意欲をもって郷土の歴史や文化を学んでいます。

私たちは子どもたちが郷土を愛する気持ちをはぐむためにIT技術を活用していきます。



③京都市立御所南小学校視察
④伝承遊びを学ぶ子どもたち

開かれ、そして信頼される学校へ

それぞれの地域で学校教育に関心のある市民のみなさんを「学校評議員」として委嘱し、幅広く意見をいただく取り組みが始まっています。

学校評議員の意見をもとに地域のみなさんの参加による学習活動や地域活動の充実に取り組んでいます。

また、地域のみなさんや大学関係者とともに教育活動について、点検評価をする「学校評価」についての調査研究を始めています。

私たちは地域に開かれ、地域のみなさんに信頼される学校づくりをめざしています。

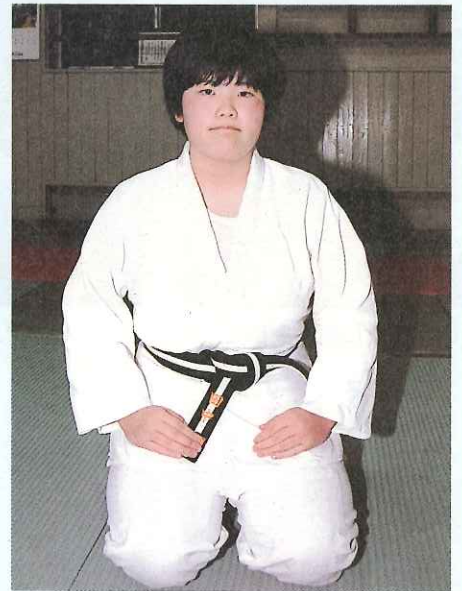


⑤昔の人の苦勞ってすごいなあ？
⑥郷土の願いを伝えよう！

デジタルで学ぶ勝山の歴史

青春ing

将来は黒帯の漫画家に



田中理恵さん(14) 北郷町東野

「まさかこんなに早く取れるなんて」と、話す田中理恵さんは、小学5年生の時に始めた柔道で初段の実力をもつ女の子。市内の武道場に週2回通い、同級生の同じく初段の男子との組み練習で腕を磨いています。

「3段ぐらいまで昇段したい」と向上心を燃やす田中さんは、2月21日に開催される福井県冬季中学柔道大会に向け練習にも熱が入ります。柔道の試合のテレビは欠かさず見る

という田中さんは、「柔道はイメージトレーニングが大切。いつも、まるで自分が試合をしている感覚で見えます。技を有効にかけていくためには、予測や計算が必要」と柔道の奥の深さとおもしろさを語ります。

また、絵やイラストにも興味をもつ田中さんは、家では本格的に漫画の勉強も続けているそうで、将来は女流漫画家の夢にもチャレンジしています。

出会い
ふれあい

父から受け継いだ技と道具と

土井武博さん(81歳) 野向町竜谷

屋号は「おけやさん」。小さい頃からおとうさんが桶を作るのをながめていた土井武博さんです。

実際におとうさんの道具を引きついで桶作りをするようになったのは終戦後のことだそうです。

「プラスチックの桶が流行るようになって、めっきり注文が減ってしまいました。終戦後のしばらくは、親子二人で作っても追いつかないときもあつたなあ」と懐かしそうに目を細めて教えていただきました。

秋になると古くなってゆるんだ桶の修繕がぼちぼちありますが、去年から「村の達人」のお一人として年の市に

も桶などを出品している土井さん。

最近視力が落ちてきたことが悩みの種ですが、「元気な間は、父のようこうして桶を作り続けたい」という土井さんは、昨年まで雅楽の横笛(おうてき)を続けた武博さん、おとうさんがおじいさんから引き継いだ、技と道具を片手に、文字通り巧の技で今日も桶作りを続けます。

すてきに人生



仲間 GROUP ■■■■■■



体に酸素！心もリフレッシュ！

健康運動サークル「酔・舞・心」

リズム体操やストレッチ運動を通じて、冬の健康づくりを目的に活動している健康運動サークル「酔・舞・心」。昨年の11月から活動を始め、現在、メンバーは男女合わせて30名。年齢は20歳前半から60歳までと幅広く、運動を通じて世代を越えた交流も深まっているようです。

会員の1人は「筋を伸ばしたりする

と、痛い時もあるけど慣れてくると気持ちがいい。骨の中まで酸素を取り込んでいって感じで、すごくリフレッシュできます。」と、このサークルを通じて自分の身体が健康になっているという実感を喜びます。

また、代表の太下雄一さん（沢町）は、「有酸素運動は、ほかのスポーツと違って技術がなくても誰でも気軽に

取り組める。」と、この運動の魅力を話します。

今後の活動についてお尋ねしたところ「施設慰問や市内のイベントなどにも協力していきたい。当面の目標は、夏に開催される『かちやまワッショイ』にこのサークルとして出場することです」と、いうことでした。

軽快な音楽に合わせての運動は、かなりハードな動きもあるようでしたが、運動をしている時のメンバーの顔は楽しそうでした。

健康運動サークル「酔・舞・心」で

は、会員を募集しています。興味のあるかたは、代表太下雄一さん（☎87-2839）までご連絡ください



がんばれ元気



お正月の伝統遊びに挑戦

山岸真智子さん(12) 〓村岡町榎神舎〓
山口友子さん(12) 〓長山町2〓

1月17日に村岡公民館で開催された「お正月を楽しもう！」に参加した村岡小学校6年生の山岸真智子さんと山口友子さん。

下級生の手伝いをしながら、羽子板とこまに絵付けをしたあと、羽根つきやこま回しを楽しみました。ボランティアのみなさんといっしょに餅つきにも挑戦し、昔ながらのお正月の風情を楽しみました。

「きれいに絵付けができてうれしい」、「おろし餅がとてもおいしかった」と、言う2人。

吹奏楽クラブに所属する2人の最近のビッグニュースは、「12月に開催された奥越アンサンブルコンテストでそろって入賞したこと」と声をそろえて教えてくれました。

保護者の声を県政に

西川一誠知事を囲む「座ぶとん集会」が1月17日、元町一丁目のひかり病児保育園で開かれました。

「座ぶとん集会」は西川知事が県民と直接話し合い、県政に生かすために昨年の6月から年間60回を目標に開催しています。

勝山市では初めての開催となったこの日、深谷里江園長らスタッフと利用者とともにひざを交えて、病児保育の課題について話し合いました。

利用者からは「制度の充実と周知で、安心して利用できる環境づくりをお願いしたい」などの意見がありました。

また、スタッフからも、「早期保育や延長保育の要望に対応したくても運営コストの関係から応えられず申し訳ない」といった現状が報告されました。

西川知事も熱心に病児保育の現状と課題について耳を傾けていました。



わがまちの

まちづくりを紹介

誰もが住みたくなるまちづくりを実践・推進している市内各地区の実践発表を行う「生涯学習のまちづくり大会」が2月7日、教育福祉会館で開催されました。



この日は、北谷町谷の「はやしこみ祭り」や遅羽町北山の「観音さんのおすすめ」などの伝統行事を紹介する映像放映や、市のエコミュージアム事業の一環で各地区が取り組む「わがまち元気発掘事業」の実践事例発表などが行われました。

事例発表では、事業の取り組み状況の報告やそれを踏まえたパネルディスカッションも行われ、参加した約80人の市民は今後のまちづくり活動について話し合いました。

また、会場内では、むらの達人「が作った郷土料理のコーナー」も設けられ、参加者らは懐かしい地域の味に舌鼓を打っていました。

雪の祭典

華やかに開催

勝山の雪に親しむ「第17回鹿谷町雪まつり」が2月8日、鹿谷公民館周辺を会場に行われました。

数日來から降り続く雪の中、仮装パフォーダンス大会や雪上綱引き、雪像コンテストなどが行われ、会場は笑いとお熱気につつまれていました。

また、この日は町の文化祭も同時開催されました。「ござ打ち実演会」やキビ団子の試食会なども行われ、会場はたくさんの町民や市民らでにぎわいを見せていました。

まつりの最後は、燃え盛る「どんど焼き」を前に「勝ち山ワッショイ」の踊りが行われ、最高潮のフィナーレを迎えました。

